

# WR(ウォークラリー)



## 1 活動のねらい

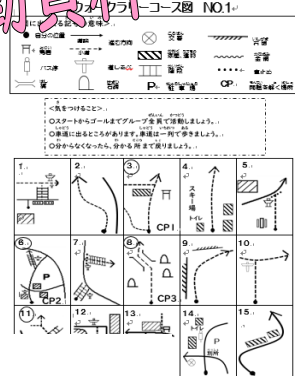
コミュニケーション能力	自分のことは自分でする	何事も最後までやり遂げる	リーダー性	自己をふり振り返り、集団を見つめ直す	自然に親しみ、環境について考える
◎		○	○	○	○

## 2 概要



交差点や分岐点だけ示されたコース図を読み取りながら、途中で設けられた問題を解き決められた時間を目指して歩きます。

## 活動資料



### ウォークラリー解答用紙 NO.1

チーム名

CP1, 鳥居の横に書いてある文字を書き写しましょう。

CP2, ここは、源田町のキャンプ場です。このキャンプ場の名前は、何でしょう。

CP3, この場所の名前は、何でしょう。Oに当てはまる文字を書きましょう。

〇 地 蔵 尊

## 3 対象及び活動形態

小学校高学年以上 150名程度 (1グループ3～5名程度)

※グループごとに3～10分の時差を設けてスタートするため、グループ数が多いほど、最終グループの出発・到着時間が遅くなります。その場合、No.1とNo.2の併用を実施するなどの手だてが必要になります。

## 4 活動の流れ

### 事前説明

注意事項の説明・確認 (実施範囲・帰着時刻・地図の読み方等) (5分)

### 活動

グループごとの出発  
チェックポイントの問題を解き記入  
定められた時刻までに帰着

NO.1	奉幣殿 (階段上り)	2時間～2.5時間
NO.2	奉幣殿 (階段下り)	2時間～2.5時間

### ポイント

事前の踏査をして、コースの状況を知っておくこと。(安全確認等)

引率者で、スタート・ゴール係、巡回係、チェックポイント係などの役割を決めておきましょう。

### 活動後

帰着グループ人員・健康状態確認  
得点の集計と採点・結果発表  
借用物品の返却 青年の家職員への連絡 (15分)

## 5 準備物

『青年の家』 コース図、解答、バインダー

『個人』 帽子、カッパ、野外活動に適した服装 (長袖・長ズボン)、時計、タオル、ティッシュ、リュックサック、筆記用具 等

『団体』 救急用品、笛 等